

CASBEE® 横浜[戸建] 評価結果 | 2-046



■使用評価マニュアルCASBEE-戸建(新築)2016年版

■バージョンCASBEE横浜[戸建]2017年版v.1.4

1-1 建物概要

建物名称	個人住宅	仕様等の確定状況	建物の仕様 持ち込み家電等 外構の仕様	確定 仮 仮	1-2 外観
竣工年月	2020年12月				
建設地	横浜市青葉区荏田北一丁目	確定	<備考>		外観パース等
用途地域 省エネルギー地域区分	住居専用地域、22条地域 6 地域				
構造・構法	木造(枠組壁工法)	確定			
階数	地上2階建て				
敷地面積	135 m ²	確定	評価の実施日 作成者	2020年7月10日 中野 亜紀	
建築面積	57 m ²				
延床面積	104 m ²	確定	確認日		
世帯人数	4				
確認者					

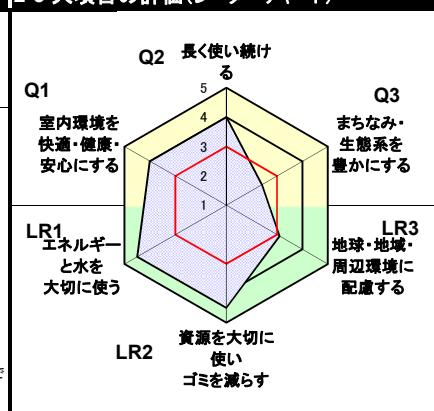
2-1 戸建の環境効率(BEEランク&チャート)



2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

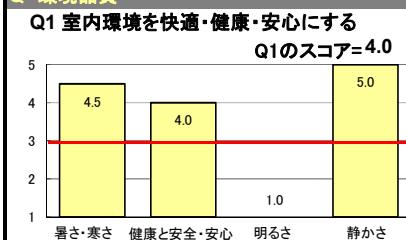


2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



2-4 中項目の評価(バーチャート)

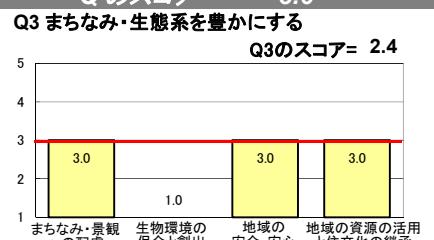
Q 環境品質



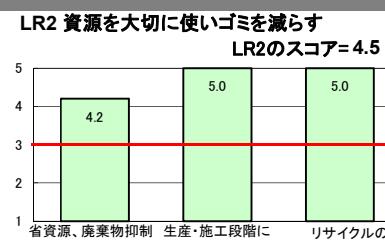
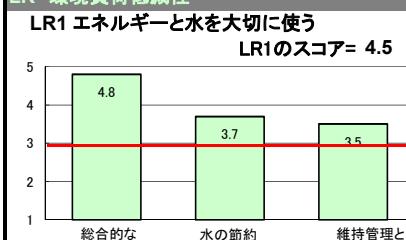
Q2 長く使い続ける



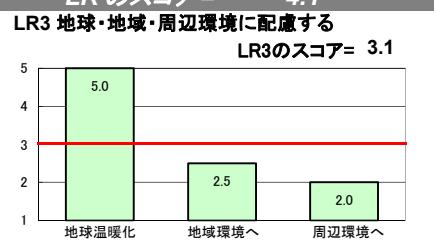
Q のスコア= 3.6



LR 環境負荷低減性



LR のスコア= 4.1



3 設計上の配慮事項

総合

次世代省エネを大きく超える断熱性能と通風・日射遮蔽・日射利用などに配慮したパッシブ設計。太陽光発電による自然エネルギーを活用し、LED照明・節水設備によりCO₂±0(ゼロ)住宅を目指す。また、住まい手の省エネ意識に訴え、省エネへの工夫が実感できる仕組み(エネルギーの見える化)を導入。

Q1 室内環境を快適・健康・安心にする

- 「自立循環型住宅への設計ガイドライン」を参考として、パッシブデザインを実施。
- 通風に配慮した窓・ドア等の平面計画
- 日射遮蔽として、カーテンを有効に活用。

LR1 エネルギーと水を大切に使う

- 高効率エアコン
- 給湯ヘッダー配管
- 省エネ電気機器の採用
- 省エネ換気システムの採用
- 太陽光発電システム4.86kw
- 節水型設備:便器、水栓、食器洗い洗濯機
- 住まいの手引き(省エネの暮らし提案)
- エネルギー管理

Q2 長く使い続ける

- 外壁、屋根材は25~50年の耐久性が期待される仕様。
- 点検・保証システム(住まいの手引きなどによる維持管理の情報提供)

LR2 資源を大切に使いゴミを減らす

- 内装:省資源・廃棄物抑制材料の使用(石膏ボード)
- 施工段階における副産物の抑制
- 設計図書(仕上表):使用材料特定の為の型番情報等の提供

その他

Q3 まちなみ・生態系を豊かにする

- 近隣住宅・街区との調和。
- 地域の安全・安心(センサー付照明)
- テラスによりプライバシーを確保し、中間期や夏場は積極的に窓を開け通風する。

LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する

- 地形の保全
- 表土の保全
- エアコン室外機等
- エアコン室外機・エコキュート等の騒音・振動・排気・排熱の周辺環境への配慮。



4 横浜市重点項目についての環境配慮概要

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。

建物名称 個人住宅

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving

重点項目への取組(5点満点)

【省エネルギー性能】

5

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)



■エネルギーを大切に使う (①建物の工夫 ②設備の性能 ③維持管理と運用)

①太陽光発電によりエネルギーの削減を行っている

電気便座(多段階評価3以上)

③住まいの手引きにて省エネに関する説明

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community

重点項目への取組(5点満点)

【健康・安心】

5

■室内環境対策 (④暑さ・寒さ)

◆断熱等性能等級 等級4を超える (相当)

長期優良住宅・性能評価取得。窓は全て木製サッシ3層ガラス。

■室内環境を快適・健康・安心にする (⑤健康と安全・安心)

⑤ホルムアルデヒド対策等級3を満たしている

玄関2ロック。窓サッシにはチャイルドロック設置

■その他の対策 (⑥自然材料・通風の工夫など)

◆工夫の有無 あり

⑥主要な居室について2方向、もしくは十分な開口部がある

防災への配慮 (R) Resilience

重点項目への取組(5点満点)

【防災】

4

■災害に備える (⑦災害に備える ⑧長寿命に対する基本性能 ⑨地域の安全・安心)

⑧劣化対策等級3を満たしている。サイディング金物工法を採用。

屋根はコロニアル葺きとし、耐用年数30年、耐火等級(開口部以外)等級2を満たしている。

長期優良住宅の点検計画

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape

重点項目への取組(5点満点)

【地域・まちづくり】

2

■まちなみ・生態系を豊かにする (⑩まちなみ・景観への配慮 ⑪生物環境の創出)

太陽光発電などの導入

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギー・マネジメントシステム以外)



太陽光利用

エネルギー・マネジメントシステム導入

HEMS

CASBEE® 横浜[戸建] | 評価結果 | 2-046



CASBEE横浜[戸建](2017年版)
個人住宅

バージョン : CASBEE横浜[戸建]2017年版v.1.4

スコアシート	重点項目	評価点	重み係数	全体
配慮項目				
Q _H すまいの環境品質		-	-	3.6
Q _{H1} 室内環境を快適・健康・安心にする		-	0.45	4.0
1 曙さ・寒さ		4.5	0.50	4.5
1.1 基本性能		4.6	0.50	-
1 断熱等性能の確保	健康・安心 (4)曙さ・寒さ	5.0	0.80	-
2 日射の調整機能	健康・安心 (4)曙さ・寒さ	3.0	0.20	-
1.2 夏の暑さを防ぐ		4.0	0.25	-
1 風を取り込み、熱気を逃がす		5.0	0.50	-
2 適切な冷房計画		3.0	0.50	-
1.3 冬の寒さを防ぐ		5.0	0.25	-
1 適切な暖房計画		5.0	1.00	-
2 健康と安全・安心		4.0	0.30	4.0
2.1 化学汚染物質の対策	健康・安心 (5)健康と安全・安心	5.0	0.25	-
2.2 適切な換気計画	健康・安心 (5)健康と安全・安心	5.0	0.25	-
2.3 犯罪に備える	健康・安心 (5)健康と安全・安心	3.0	0.25	-
2.4 災害に備える	防災 (7)災害に備える	3.0	0.25	-
3 明るさ		1.0	0.10	1.0
3.1 屋光の利用		1.0	1.00	-
4 静かさ		5.0	0.10	5.0
Q _{H2} 長く使い続ける		-	0.30	4.0
1 長寿命に対する基本性能		4.1	0.50	4.1
1.1 軸体	防災 (8)長寿命に対する基本性能	5.0	0.30	-
1.2 外壁材		4.0	0.10	-
1.3 屋根材、陸屋根		4.0	0.10	-
1.4 自然災害に耐える	防災 (8)長寿命に対する基本性能	5.0	0.30	-
1.5 火災に備える		1.7	0.20	-
1 火災に耐える構造		1.0	0.65	-
2 火災の早期感知		3.0	0.35	-
2 維持管理		5.0	0.25	5.0
2.1 維持管理のしやすさ		5.0	0.65	-
2.2 維持管理の計画・体制		5.0	0.35	-
3 機能性		3.0	0.25	3.0
3.1 広さと間取り		4.0	0.50	-
3.2 バリアフリー対応		2.0	0.50	-
Q _{H3} まちなみ・生態系を豊かにする		-	0.25	2.4
1 まちなみ・景観への配慮	地域・まちづくり (10)まちなみ・景観への配慮	3.0	0.30	3.0
2 生物環境の創出		1.0	0.30	1.0
2.1 敷地内の緑化	地域・まちづくり (11)生物環境の創出	1.0	0.65	-
2.2 生物の生息環境の確保	地域・まちづくり (11)生物環境の創出	1.0	0.35	-
3 地域の安全・安心	防災 (9)地域の安全・安心	3.0	0.20	3.0
4 地域の資源の活用と住文化の継承		3.0	0.20	3.0
LR _H すまいの環境負荷低減性		-	-	4.1
LR _{H1} エネルギーと水を大切に使う		-	0.35	4.5
1 総合的な省エネ		4.8	0.75	4.8
1.1 軸体と設備による省エネ	省エネルギー性能 (1)建物の工夫	5.0	0.90	-
1.2 家電・厨房機器による省エネ	省エネルギー性能 (2)設備の性能	3.0	0.10	-
2 水の節約		3.7	0.15	3.7
2.1 節水型設備		4.0	0.75	-
2.2 雨水の利用		3.0	0.25	-
3 維持管理と運用の工夫		3.5	0.10	3.5
3.1 住まい方の提示	省エネルギー性能 (3)維持管理と運用	3.0	0.50	-
3.2 エネルギーの管理と制御	省エネルギー性能 (3)維持管理と運用	4.0	0.50	-
LR _{H2} 資源を大切に使いゴミを減らす		-	0.35	4.5
1 省資源、廃棄物抑制に役立つ材料の採用		4.2	0.60	4.2
1.1 構造軸体		5.0	0.30	-
1 木質系住宅		5.0	1.00	-
2 鉄骨系住宅		3.0	-	-
3 コンクリート系住宅		3.0	-	-
1.2 地盤補強材・地業・基礎		3.0	0.20	-
1.3 外装材		5.0	0.20	-
1.4 内装材		4.0	0.20	-
1.5 外構材		3.0	0.10	-
2 生産・施工段階における廃棄物削減		5.0	0.30	5.0
2.1 生産段階(構造軸体用部材)		5.0	0.33	-
2.2 生産段階(構造軸体用以外の部材)		5.0	0.33	-
2.3 施工段階		5.0	0.33	-
3 リサイクルの促進		5.0	0.10	5.0
3.1 使用材料の情報提供		5.0	1.00	-
LR _{H3} 地球・地域・周辺環境に配慮する		-	0.30	3.1
1 地球温暖化への配慮		5.0	0.33	5.0
2 地域環境への配慮		2.5	0.33	2.5
2.1 地域インフラの負荷抑制		2.0	0.50	-
2.2 既存の自然環境の保全		3.0	0.50	-
3 周辺環境への配慮		2.0	0.33	2.0
3.1 騒音・振動・排気・排熱の低減		1.0	0.50	-
3.2 周辺温熱環境の改善		3.0	0.50	-